

令和5年度 第1回 三朝町総合教育会議 会議録

開 会 日	令和6年1月23日(火)
開 催 場 所	三朝町役場2階 第2会議室
出 席 者	松浦弘幸町長、西田寛司教育長 塩谷俊樹教育委員、加藤るみこ教育委員、村岡麻梨教育委員、松浦靖明教育委員
欠 席 者	な し
説明等の出席者	赤坂副町長、青木地域振興監、大村総務課長、安田教育総務課長、角田社会教育課長、毛利図書館長、吉竹指導主事、福田教育総務係長
協 議 事 項	(1) 三朝町教育大綱中間見直しの考え方について
報 告 事 項	な し
そ の 他	な し

会 議 の 内 容

- 1 開 会
事務局
午前9時00分
・ 令和5年度第1回三朝町総合教育会議を開会する。
- 2 あいさつ
町長
・ 三朝町の教育の推進については、大綱をベースにして進めてきている。
・ 小学校を統合し、新校舎の整備もようやく今秋に完成となってきた。
・ 先般、工事現場を確認し、計画通り進んでいることを確認した。
・ デジタルの時代になり、子どもも先生もタブレットを活用して授業に取り組んでいるが、そういった時代に対応した校舎設備の考え方も、現状ベースではなく、先を見据えた形をつくっていく必要があると思っている。
・ ある面で先進的なところも研究をしながらつくり上げていきたい。
・ より良い環境の中で子どもたちの教育が推進できることを皆さんとともに努力していきたい。
教育長
・ 限られた時間の中ではあるが、今日の議題についてよろしくお願ひしたい。
・ 大雪が心配されるが、基本的な考え方は、路線バスが運行する限りは学校は閉じない、路線バスが運休となれば即断で休校ということもあり得る。
・ 校長先生が臨時休業についての決断をされるが、教育長や事務局と相談しながら決定していくことになると思う。
・ 教育大綱の見直しについて大きな点は、幼児期から義務教育に至るまでの人権教育や英語教育の中で、12年なりの考え方はまとめ、実行してきており、これからさらに強いものにしていくことが、私たちがしなければいけないことで、三朝町の担い手として世界的な視野を持った子どもたちを育てていくことができれば、地元に残ってくれて、三朝の担い手となってくれると思っている。
・ さまざまな意見があると思うが、忌憚なく意見を出し合ってもらい、より良いものにしていくという思いで、よろしくお願ひしたい。

- 3 会議録署名委員の指名
- ・ 本日の会議録署名委員は、加藤委員と村岡委員を指名する。

4 協議事項

事務局

- (1) 三朝町教育大綱中間見直しの考え方について
(資料により説明)

- ・ 三朝町教育大綱中間見直しは令和6年度に検討を予定しており、本日はその考え方についての協議と位置付ける。
- ・ 現行の大綱は令和2年5月に策定しており、令和10年度までの9年間の計画期間としている。
- ・ 本大綱策定から間もなく4年が経過する中、来年度が計画期間の中間年度に当たる。
- ・ 現行の総合計画との整合性については、基本理念、実現のための基本方針ともそのまま維持するものと想定している。
- ・ ただ、本町を取り巻く環境の変化や参酌すべき計画、意識する視点があることから、見直しすべき点がないか今後検討していきたい。委員の皆さんの意見を伺いたい。

事務局

- ・ 資料について何か質問はあるか。
- ・ 示したスケジュールについては、これでよいか。

各出席者

(意見なし)

事務局

- ・ スケジュールについては、これで進めていくこととしたい。
- ・ 見直しに関する意見について、本日求めることは難しいかもしれないが、普段本町の教育について感じていること等、意見をもらえたらと思う。

町長

- ・ 国の政策も変わってきているので、それに対応したものをつくっていく必要がある。
- ・ コミュニティ・スクールの位置付けをどうしていくか。
- ・ ICT教育について、Society5.0を踏まえた方向性の検討が必要。
- ・ 大学入試に取り入れられるプログラミング教育の重点化が必要。
- ・ 部活動の在り方、スポーツ活動の在り方をどうするかが大事。
- ・ ふるさと教育の中で、日本遺産を学んで、体験して、伝えていくことを考えていく必要がある。

教育長

- ・ 次期総合計画が令和10年度に策定されるなら、『みさきっ子教育ビジョン』は翌11年度に策定するようにしてはどうか。
- ・ 大綱も、総合計画策定を時を同じくすると大変かもしれない。
- ・ 教育ビジョンは教育振興計画に相当するものとして取り扱ってきているが、その中で社会教育の視点が少なく、社会教育課が『生き生きプラン21』の見直しを検討しているようなので、内容の反映が必要。

事務局

- ・ 『生き生きプラン21』の見直しは終わり段階か。

事務局

- ・ 『生き生きプラン21』は平成10年に策定され、3か年くらいの当面の目標はあったがその先はなく、現在指標がないため、来年度、大綱の中間見直

しに合わせて全面改訂を行う予定で検討を進めている。

町長

- ・ 考え方はそれでいいのではないか。
- ・ ものによっては1年遅れての策定となってもよい。
- ・ 令和7年度から本格的に子どもたちが新校舎で学び出すタイミングで、小中連携をあらためてスタートするのであれば、令和7年度を区切りとしたらよいのではないか。

教育委員

- ・ 現行の大綱の基本理念に「ふるさとを輝かせ」とあるが、町民は輝いているか、子どもたちはそう感じているか、将来、帰ってきたいと思っているか、が心配。

教育委員

- ・ 大人になってからの教育を受ける場面を増やすべき。
- ・ 学校教育の検証の場を、学校内だけでなく、学校の外にも設けるべき。
- ・ 心と体を育てるのが教育の基本。
- ・ 小学校に入ると、保育園で育てられてきた心が置いて行かれてしまうような感覚がある。

教育委員

- ・ 学力よりも心の安定が大事。
- ・ 子どもたちがお互いに認め合うことが大事。
- ・ 町の中で自分たちが生きているということを知ることが大事。

教育委員

- ・ 人口減少により、地元に戻ってきてくれている状況。
- ・ 園小中で一貫した取り組みを具体的に進めていく必要がある。
- ・ コミュニティ・スクールは、学校サイドが動かないと進まない。
- ・ ふるさとへの思いを感じることにつなげていけたら。

副町長

- ・ 新校舎建設が進んでおり、新しい環境に期待している。。
- ・ ふるさとを誇りに思うことが基本。
- ・ スケールの違う図書館の整備が予定されている。国語力の向上が大事。

町長

- ・ 「地域の子どもは地域で育てる」が基本。
- ・ 国内外交流は先生にも学んでもらいたい。
- ・ 保育園のころから保護者が学ぶ機会を示していく必要がある。
- ・ 町のPRを子どもたちにしていく必要がある。

5 その他

事務局

各出席者

- ・ その他、意見があれば。
(意見なし)

6 閉会

事務局

それでは、以上をもって令和5年度第1回三朝町総合教育会議を閉会する。

午前9時47分